

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、研究機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さんが、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	令和6年能登半島地震における金沢医科大学病院での精神科リエゾン業務についての検討
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学精神神経科学 新田 佑輔
研究参加拒否 申込受付期間	2024年8月1日までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2025 年 03 月 31 日
対象者	2024年1月4日～2024年3月31日までの間に、金沢医科大学病院の精神科以外の科に入院し、精神科医師の診察を受けられた方。
当該研究の意義・目的	本研究の目的は令和6年能登半島地震発災後、総合病院に入院した患者の精神医療の必要性を明らかにすることを目的とする。 本研究により、災害時の総合病院における精神科の役割を明確化することが期待される。 今回の令和6年能登半島地震での経験を集約することで、今後の大規模災害における精神医療の充実に寄与することができる。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	本研究は、令和6年能登半島地震で、総合病院に入院された方に精神医療が必要となった経緯に関する情報等を収集し、得られたデータから、災害時にどのような要因で精神医療が必要とされるかを解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。 対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。精神科への介入依頼の理由、精神科診断名、性別、年齢、ADL（日常生活動作：Activities of Daily Living）、GAF（機能の全体尺度：Global Assessment of Functioning）、精神症状を、診療録情報を元に調査させていただき解析に利用させていただきます。 研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研 究対象者等の求め	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますの

に応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	でお申し出下さい。 この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 精神神経科学 新田 佑輔 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211内線（68388）

作成日： 2024 年 04 月 25 日